

問1 奈良時代、唐の都である長安を手本にして現在の奈良県に建設された、東南北に整然と区画された都を何といいますか。

(2021年 福島県公立入試 類似)

1. 平城京 2. 平安京 3. 藤原京 4. 難波京

問2 7世紀から9世紀にかけて日本が唐へ派遣した使節について、その主な目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。

(2016年 山口公立入試 類似)

1. 律令国家としての体制を整えるため、当時の先進国であった唐の政治制度や優れた文化を導入すること。
2. 唐の強力な軍事力を背景にして、蝦夷と呼ばれた東北地方の人々を武力で平定し、領土を拡大すること。
3. 朝鮮半島での利権をめぐる争いを有利に進めるため、唐と軍事同盟を結んで新羅を攻撃すること。
4. 国内の飢饉や疫病による混乱を鎮めるため、唐から大量の食料援助や医師の派遣を受けること。

問3 奈良時代に政府の命令によって編纂された『風土記』の内容や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2021年 鳥取公立入試 類似)

1. 中央政府が地方の資源や文化を把握するため、各地の産物や地名の由来、伝承などを記録させた。
2. 天皇の位の正当性を示すため、神話から続く国家の成り立ちを編年体で記述した。
3. 仏教による鎮護国家を目指し、各地に建立された国分寺の歴史や由来をまとめた。
4. 租・庸・調などの税率を決定するため、全国の戸籍とあわせて土地の面積を詳細に記録した。

問4 律令制度のもと、政府が戸籍に基づいて6歳以上の人民に一定の面積の田地を割り当てた仕組みにおいて、人々に与えられた土地を何といいますか。この土地は本人の死後に国へ返還する決まりがあり、収穫高に応じて税が課されました。

(2015年 岐阜公立入試 類似)

1. 口分田 2. 墾田 3. 名田 4. 荘園

問5 8世紀の律令制のもとで、九州全域の統治を行うとともに、大陸との外交や国防を担う拠点として現在の福岡県に設置された行政機関を何といいますか。

(2020年 大阪公立入試 類似)

1. 大宰府 2. 六波羅探題 3. 開拓使 4. 多賀城

問6 奈良時代の律令制度のもとでは、租・庸・調や兵役、雑徭といった重い負担が農民に課せられていました。こうした税や労役の負担から逃れるために、本来は男性であるにもかかわらず、戸籍には女性として登録したり、年齢を偽って登録したりする行為を何と呼びますか。

(2018年 徳島公立入試 類似)

1. 偽籍 2. 浮浪 3. 逃亡 4. 墾田

問7 律令制が整えられた時期、政府は戸籍を作成して人々の把握に努めました。この戸籍に基づいて行われた「班田収授法」の内容として、最も適切な説明はどれですか。

(2016年 静岡公立入試 類似)

1. 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。
2. 新しく開墾した土地を、三世代にわたって私有することを認める制度。
3. 有力な貴族や寺社が所有する大規模な私有地を、国家の直轄地として没収する制度。
4. 平城京の周辺にある土地を、功績のあった役人に対して永久に与える制度。

問8 奈良時代において、天平文化の特色を示す歴史書が編纂された背景や目的について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。

(2015年 山口公立入試 類似)

1. 仏教による鎮護国家の思想を広め、全国に国分寺を建立する正当性を与えるため。
2. 天皇による国内支配の正当性を、神話や伝承といった歴史的経緯をもとに内外に示すため。
3. 地方の特産物や地理的状況、伝承を詳しく記録し、租税の徴収を効率化するため。
4. 貴族や民衆の間で詠まれていた和歌を収集し、日本語独自の表現技法を確立するため。

問9 794年、桓武天皇は都を山背国（現在の京都府）に移し、平安京と名付けました。この遷都が行われた主な目的として、当時の政治状況を踏まえた説明として正しいものはどれですか。

(2020年 沖縄公立入試 類似)

1. 平城京で強大になっていた仏教勢力の影響を断ち切り、天皇中心の律令政治を立て直そうとした。
2. 墾田永年私財法によって広まった私有地（荘園）をすべて没収し、再び奈良の地で公地公民制を復活させるため。
3. 大宝律令を廃止して、中国の唐の制度に頼らない日本独自の新しい法典を平城京以外で作成するため。
4. 東北地方での蝦夷（えみし）との戦いに専念するため、政治の中心地を一時的に東北地方に近い場所へ移した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 平城京	710年に元明天皇によって遷都された都です。唐の都・長安にならって碁盤の目のように区画された「条坊制」が取り入れられ、政治や経済の中心地として栄えました。794年に遷都された平安京（京都）と混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 1 律令国家としての体制を整えるため、当時の先進国であった唐の政治制度や優れた文化を導入すること。	遣唐使の最大の目的は、当時の世界で最も進んでいた唐の政治の仕組み（律令制度）や高度な仏教文化、学問などを直接学び、それを日本に取り入れることで、天皇中心の中央集権的な国家体制を確立することにあります。この派遣を通じて、日本は法制度や都市計画、文字や宗教など多岐にわたる分野で大きな影響を受けました。
問3	答え 1 中央政府が地方の資源や文化を把握するため、各地の産物や地名の由来、伝承などを記録させた。	律令国家としての体制を整える過程で、政府が地方の自然環境、経済資源、そして地元の伝統文化を正確に把握するために作成を命じた地理書です。単なる事務的な報告にとどまらず、その土地に伝わる伝説なども含まれている点が大きな特徴です。
問4	答え 1 口分田	律令国家が「公地公民」の原則に基づき、土地と人民を直接支配するために整えた仕組みが班田収授法です。この法によって、6歳以上の男女に与えられた土地を口分田と呼びます。口分田を与えられた人々には、その面積に応じて収穫の約3%を稲で納める「租」という税の負担が義務付けられていました。
問5	答え 1 大宰府	九州を統括する特別な役所で、「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれました。地理的に朝鮮半島や中国大陸に近いことから、外国使節の接待を行う外交の窓口としての機能や、防人（さきもり）などを配置して外敵に備える国防の役割を兼ね備えていたのが特徴です。
問6	答え 1 偽籍	律令国家が農民に課した庸・調や兵役、雑徭といった重い負担は、主に成人男性（正丁）が対象となっていました。これに対し、女性の税負担は男性に比べて極めて軽かったため、農民たちは生活を守る手段として、戸籍上で性別や年齢を偽ることで負担を回避しようとしてきました。この行為は、律令制による人民支配が困難になっていく背景の一つとなりました。
問7	答え 1 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。	律令国家の形成期において、国家は「租」という税を確実に集めるために、班田収授法を確立しました。戸籍をもとに6歳以上の男女に口分田を割り当て、労働力を把握すると同時に、土地の売買や世襲を禁じることで、国家による土地支配を維持しようとしてきました。これに対して、後に制定された「墾田永年私財法」は、開墾した土地の永年私有を認めるものであり、班田収授法の崩壊につながる出来事でした。
問8	答え 2 天皇による国内支配の正当性を、神話や伝承といった歴史的経緯をもとに内外に示すため。	律令制に基づいた中央集権国家の確立を目指していた当時の朝廷にとって、天皇が日本を統治する正統な理由を公式に記録することは不可欠な事業でした。そのため、バラバラに残っていた神話や有力氏族の伝承を一つの「正史」としてまとめ、国家の正当性を主張しようとしてきました。なお、地方の地理や産物を記録したのは『風土記』、和歌の収集は『万葉集』の役割です。
問9	答え 1 平城京で強大になっていた仏教勢力の影響を断ち切り、天皇中心の律令政治を立て直そうとした。	奈良時代の平城京では、大きな寺院の僧侶が政治に深く関与するようになり、天皇の権威が脅かされることもありました。桓武天皇はこうした仏教勢力との癒着を断ち切り、政治を刷新して本来の律令制度の精神を取り戻すために、長岡京を経て平安京への遷都を断行しました。